

[認知症対応型共同生活介護用]

調査報告概要表

作成日 平成19年6月8日

【評価実施概要】

事業所番号	4672700095
法人名	医療法人 蒼風会
事業所名	高齢者グループホーム りんどう
所在地	鹿児島県川辺郡川辺町平山6910番地 (電話) 0993-56-4976
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島県鹿児島県真砂本町21-5前田ビル1F
訪問調査日	平成 19 年 6 月 8 日

【情報提供票より】(平成 19 年 5 月 22 日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	7.6 人

(2)建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての	1階 ~	1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	46,500 円	その他の経費(月額)	10,500 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(174,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(5月22日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	76 歳	最高	99 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	・医療法人蒼風会児玉病院 ・宮蘭外科医院 ・川路歯科 ・かわなべ共立病院
---------	--------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町の中心部に位置し、近隣に役場・消防署・交番・商店街があり、地域の中で暮らす環境に恵まれている。明るく家庭的な室内からは庭の草木が眺められ、季節の移り変わりを感じることができる。管理者をはじめ職員は、利用者と共にお互いに笑顔で暮らすことを心がけたケアを行っており、利用者一人ひとりのペースを尊重したその人らしい暮らしの支援を行っている。今後は認知症対応の居住環境や職員の機能を活かして、自宅で暮らす認知症の利用者や家族への支援も検討している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題となっていた入居者の権利・義務についての説明文書及び契約書への明示については、説明文書を作成し改善している。介護計画の作成にあたっては、本人や家族・職員の意見を取り入れた個別の介護計画を作成している。食事や水分摂取量の把握については、入居者状況チェックシートに記入、把握するよう取り組んでいる。職員の研修については、研修体制の充実と研修に参加しやすい勤務体制の整備に引き続き取り組んでみたい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、職員の意見を参考にして管理者が主に行っており、自己評価の結果について職員全員で共有を図っていない。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	利用者・家族・地域住民の代表者・行政担当者・有識者など、幅広い立場の人が出席し、状況報告をすると共に出席者からグループホームへの意見や要望を出してもらい、サービスの向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者の暮らしぶりや状況を家族に報告し、職員と家族のコミュニケーションを大事にしており、何でも言ってもらえるような関係作りに留意している。訪問時に職員の方から意見や要望等を伺うように努め、出された意見は業務日誌に記録し、ミーティングで話し合い対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩時の挨拶や近所の商店での買い物を通じて交流を図っている。町内会に加入しているものの、現在地域活動への積極的な参加は行っていないため、取り組みへの検討を行っている。

調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民の一員として、地域の方々と一緒に過ごしながら、その人らしく生活していくことを目指した理念を作成している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を目につきやすい場所に掲示し、管理者と職員は、理念を常に念頭に置きながら日々のケアに取り組むように努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	買い物を通じて近隣住民との交流を図っている。町内会には加入しているものの、地域活動への積極的な参加は行っていないため、今後の課題として検討中である。	○	運営推進会議で意見や提案をもらい検討し、地域住民の一員として必要とされる活動や役割を担っていく活動を、事業所側から積極的に取り組んでいくことが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、職員の意見を参考にして管理者を中心に取り組んでいるが、自己評価の結果についての共有を図っていない。前回評価での課題については、すでに改善した項目もあるが、引き続き取り組みが望まれる項目もある。	○	評価のねらいや活用方法を全職員が理解するように努めながら、評価の一連の過程を職員全員で計画的に継続的に取り組んでいくことが望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者・家族代表・地域の代表・行政・有識者など、幅広い立場の人が出席し、状況報告をすると共に出席者から意見・要望を出してもらい、それをサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者に日ごろから質問や相談をしており、サービスの質の向上に共に取り組む関係ができています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に、暮らしぶりや状況を伝えたり金銭管理状況を報告している。「りんどう便り」に写真を載せてホームでの様子を伝えている。職員の異動について、家族の関心が高いため速やかに報告していく予定である。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に話せる関係作りや雰囲気や心がけており、家族の訪問時には意見や要望などを聞くようにしている。出された意見等は、業務日誌に記録し、職員ミーティングで話し合い対応している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員によるケアを重視した職員の配置異動を行っており、職員が交代する際は、時期を考慮したり引継ぎの時間を十分にとるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修会への参加や資格取得を目指す職員の育成は促されているが、外部の研修を受ける機会が少なく、全職員が経験や習熟度の段階に応じた研修の体制が十分とはいえない。	○	運営者は、職員育成の重要性を認識し、すべての職員が各自の立場や経験・習熟度の段階に応じた学びの機会を、事業所として計画的に確保していくことが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しており、管理者は他グループホームとの交流や意見交換等を行っているが、職員間の交流には至っていない。	○	事業所の質の確保のためには、他グループホームとの交流や連携が不可欠であることを運営者が認識し、管理者だけでなく職員も日々のサービスや職員育成に役立つ実践的な交流や連携を図ることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に本人と家族にホームで一緒にすごしてもらい、職員やホームの雰囲気などに馴染んでもらえるよう支援している。利用開始後も家族の訪問回数を多くしてもらおう等、安心感への配慮をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有し、料理や農業など生活の知恵や知識を教えてもらう場面もあり、寄り添い支えあう関係作りに努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中から、利用者の希望や思い・意向を把握するように努め、行動や表情からも汲み取るよう心がけている。困難な場合は、家族等の情報をもとにミーティングで検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向をとり入れ関係機関と話し合い、個別の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直し期間は設定されているものの、現状に即した計画の見直しの記載をしていない。	○	本人・家族の要望や状態変化に応じた検討・見直しを行っていくことが望まれ、あわせて内容の記載も検討してもらいたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況や要望に応じて、通院介助やお墓参り等個別の外出支援を行っている。	○	認知症対応型通所介護の検討を予定しているので、今後は自宅で暮らす認知症の方への支援も期待される。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を確認しながら、母体病院や以前からのかかりつけ医・協力医療機関と連携を図り、往診や定期受診など必要な時に適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、事業所としての対応については方針がまだ決定していない。	○	利用者及び家族等の大きな関心と不安のひとつが、重度化した場合の対応のあり方であるため、運営推進会議の議題にあげるなど早期に方針を定め、対応方針の共有を図ることが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけやケアを徹底するように、職員間でお互いに気をつけている。個人記録の管理や電話対応にも注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調や気分に応じて配慮しながら、その日の希望の過ごし方やペースを尊重した暮らしの支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望をメニューにとりいれ、食事が楽しみになるよう支援している。準備や後片付け等、利用者の個々の力を活かしながら職員と一緒にやっている。落ち着いてゆったり食事ができるよう雰囲気にも配慮している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯は一応決めてあるが、一人ひとりの希望に副った入浴の支援に努めている。入浴の際の羞恥心や負担感・抵抗感のある方への声かけや対応にも配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔の体験談を話してもらったり、庭の手入れの指導をしてもらおう等、一人ひとりに合った役割や楽しみを見つけて、日々の生活の中で発揮してもらえよう声かけや場面作りに取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	病院受診の際の外出・買い物・散歩への声かけは行っているが、一人ひとりの希望に副った外出の機会は少ない。	○	外出が、一部の限定された利用者だけでないか、行き先が固定化していないかを振り返り、状況や希望に応じて一人ひとりが外出を楽しめる支援を行っていくことが望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	対応困難な利用者の安全を確保する為、状況によっては玄関に施錠している時間もあるが、職員で検討や話し合いを重ね、日中できるだけ鍵をかけないで支援していくように取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署との合同訓練を含め年二回の避難訓練を行っており、近所の方にも協力を依頼している。母体組織との協力体制もあり、非常用食料やランタン・ポリタンクなどの備品も準備している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の嗜好を把握し、希望を献立にとり入れている。食事量や水分摂取量は入居者状況チェックシートに記録し、月一回の体重測定で状態を把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や置物・飾りつけなどで、季節感を感じられる家庭的な空間になっている。日中過ごすことの多い食堂兼居間には、仏壇を置いたり家庭的な雰囲気の家具を配置し、ゆったりと居心地よく過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や使い慣れた日用品が持ち込まれ、家具の配置も工夫し写真を飾るなど、居心地よく過ごせる居室作りに取り組んでいる。		